



2026年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社シンカ
代表者名 代表取締役社長 江尻 高宏
(コード: 149A 東証グロース市場)
問合せ先 財務経理部長 市川 裕二
(TEL. 03-6721-0415)

繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2025年12月期決算において、繰延税金資産の取崩しを行うとともに、昨年2月14日の2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）に開示した2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、お知らせいたします。

1. 繰延税金資産の取崩しについて

当会計年度の業績及び今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2025年12月期第4四半期会計期間において繰延税金資産を取崩すこととし、法人税等調整額5百万円を計上いたしました。これにより、当会計年度における法人税等調整額は9百万円となりました。

2. 当期の業績予想と実績値の差異について（2025年1月1日～2025年12月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,479	50	49	24	7円81銭
実績値(B)	1,464	60	62	42	13円48銭
増減額(B-A)	△15	9	12	18	—
増減率(%)	△1.0%	19.0%	25.5%	73.3%	—
(参考)前期実績 (2024年12月期)	1,232	78	48	16	5円27銭

差異の理由

2025年12月期において、当社は当社のサービスである「カイクラ」のニーズが高い自動車業界・不動産業界を中心に販売活動を展開するとともに、売上高およびアクティブユーザー拠点数の拡大を目的として、販売パートナーやOEM事業者との連携を活用し、営業活動を進めてまいりました。その結果、当事業年度のカイクラアクティブユーザー数は3,182社（前事業年度末比10.1%増）、6,202拠点（前事業年度末比9.8%増）となり、売上高は1,464百万円と概ね当初想定どおりの水準を確保いたしました。

顧客獲得効率が当初の想定を上回って推移したことから、営業コストを想定よりも抑制することができました。また、営業外収益につきましても堅調に推移いたしました。これらの結果、営業利益（前回発表の予想から9百万円の増益）および経常利益（前回発表の予想から12百万円の増益）は、前回発表予想を上回る結果となりました。

当期純利益につきましては、これらに加え、税金費用が想定していた税負担率を下回ったことから、前回発表予想比+73.3%（前回発表予想比18百万円の増益）となり、前回発表予想を上回る結果となりました。

なお、本日公表の2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）において、当期の実績値を開示しております。

以上